

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県中津川市 国民健康保険 坂下病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド透訓	救 臨 輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
80,295	13,868	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

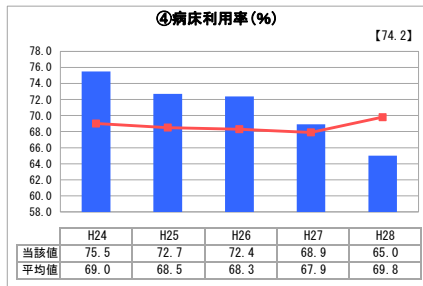
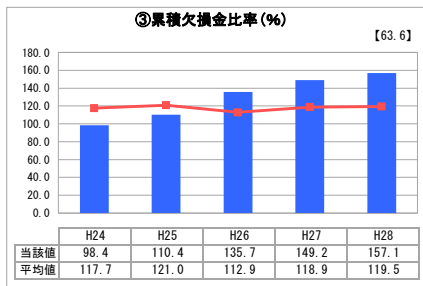
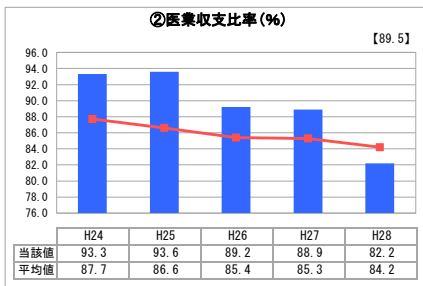
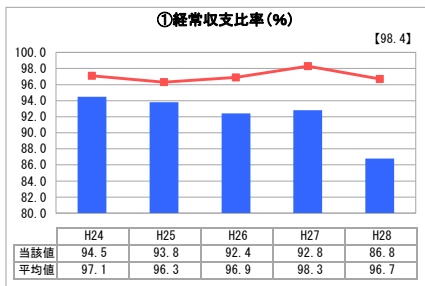
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
149	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
110	50	160

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

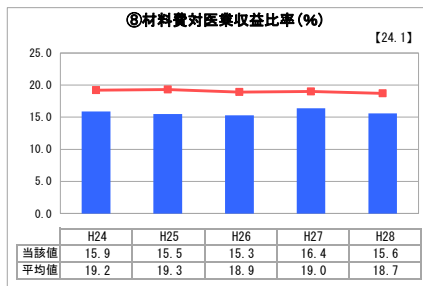
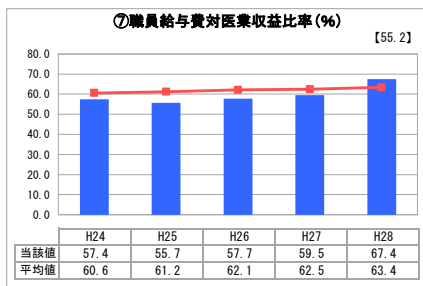
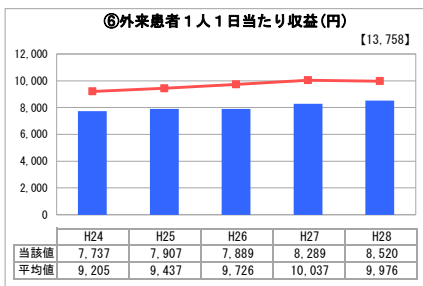
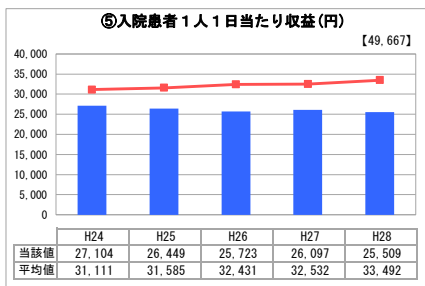


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



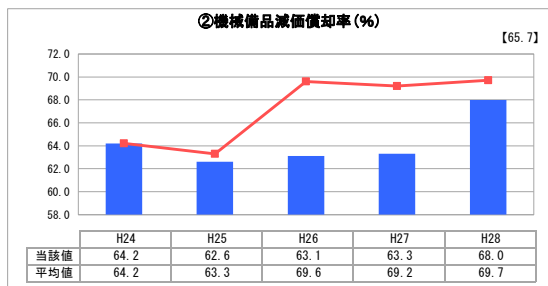
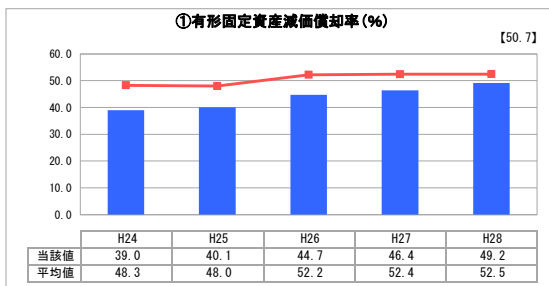
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

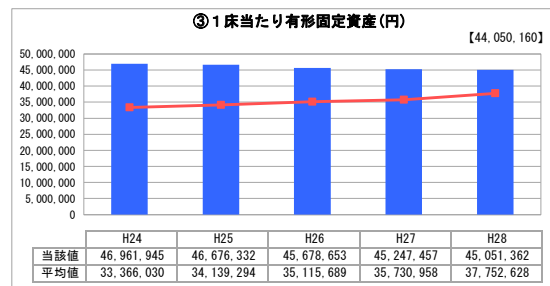
「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

同市内にある総合病院中津川市民病院と地域医療の安定的な提供を担うために、相互に連携・協力して経営の安定化と機能の充実に努めています。また、市内の他の病院・診療所等と連携を図り、症状が軽い身近な医療は地域の診療所等が担い、重篤な急性期・高度医療を必要とする医療を分担して担う「地域完結型医療」を推進してきました。その中でも当院は坂下地区、山口地区、川上地区を中心に、長野県木曽郡南部地域を含む地域医療を支える役割を果たしています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度はほとんどの数値で全国平均を下回る結果となっており、非常に厳しい状況となっています。現時点では、一般会計からの特別繰入がなければ経営が成り立たない状況となっています。今後は「中津川市新公立病院改革プラン」に沿って、入院・外来機能を同市内にある総合病院中津川市民病院に集約するなど効率性を高めるとともに、より一層の経営改革に努め、中津川市病院事業として、経営の健全性を高めていきます。

2. 老朽化の状況について

平成13年の稼働以来15年ほど経過し、施設として修繕が必要な箇所が多々出てきているのが現状です。また、その修繕についても多額な費用が必要となる修繕も多々あります。平成28年度において、有形固定資産減価償却率および機械備品償却率においては全国平均より多少下回っていますが、前年に比べ数値は悪化しています。また、1床当たり有形固定資産においては全国平均を上回っており、今後はより一層「中津川市新公立病院改革プラン」に沿って計画的に施設や機器の更新等を行う必要があると考えます。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」、「2. 老朽化の状況」からも経営の改善は喫緊の課題となっています。平成29年3月に策定した「中津川市新公立病院改革プラン」に沿って、中津川市民病院との機能分担と連携強化を進めることにより、経営の効率性を高め、健全な経営に近づけることが必要です。

今後は中津川市病院事業として、坂下地区、山口地区、川上地区を中心に、長野県木曽郡南部地域を含む地域医療を担う病院としての役割を果たしていくよう努めます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。